

Makuhari's Memory

市町村アカデミー研修を振り返って

「あっという間、ただ大変濃密で有意義5日間でした」。これが今回の研修を振り返った率直な感想です。

今回、文化・芸術の活用による地域社会の活力の創造を受講させていただきました。受講前は研修への期待と不安が交錯しつつアカデミーへ向かい、そして入寮時に「代表幹事をお願いします」との一言。不安は最大限ともなりました。しかし、いざ研修に入ると、その不安を感じる暇も無くなるくらい、講義、課題演習へと進んでいきました。

今回の研修は文化・芸術行政を扱っていましたが、著名な講師陣による具体事例を挙げながらの講義は、まさに目から鱗の内容ばかりでした。内容もちろんですが、業務に取り組む際の視点や意識をいかに持つかについても教えていただきました。

課題演習では、各班それぞれのテーマに対し、真剣に討議を重ねており、夜遅くまで議論が続いた班もあったようでした。私の所属したG班でも座長のスムーズな運営の下、全員が真摯に議論を重ねつつ、様々な意見交換もさせていただきました。そして、最終日の発表では、各班それぞれ

の明確な主張が伝わってきました。

今回、同期の皆さん全員と言葉を交わすことができなかったことが大変悔やまれますが、この研修で各自治体の職員の方々と繋がりを持てたことは、私にとって大きな財産ともなりました。

最後になりますが、講師の皆様、担当の吉田教授、そして北は北海道、南は沖縄までの45名の同期生の皆様には感謝申し上げます。またいつかお会いできる日を楽しみにしています。



加覧 淳一

宮崎県都城市
教育委員会文化財課主査
〈受講研修科目〉
文化・芸術の活用による地域社会の活力の創造
第33期第1組（令和元年度）